

# 平成28年度 静岡県養護教員講習会及び養護教諭夏季研修会

平成28年8月8日(月) 静岡グランシップにて、静岡県養護教員講習会及び静岡県養護教諭夏季研修会が行われました。

講演「成長曲線に基づく児童生徒の健康管理・指導について」

講師 東京女子医科大学名誉教授 村田 光範 氏



## ○ なぜ、座高測定を削除して成長曲線を積極的に活用するのか

座高が学校健康診断に導入されたのは昭和12年であるが、その理由は座高が高い者は内臓が頑強であるという戦争中の誤った考えであった。

## ○ 身長・体重成長曲線とは何か

- ・身長と体重は成長を評価する基本的測定値であり、身長の伸びと体重増加には規則性がある。
- ・身長の伸びと体重の増加の規則性を具体的に示したものが、身長・体重成長曲線である。
- ・個々の児童生徒の身長・体重成長曲線が基準線からはずれることが、身長や体重の成長障害の可能性を意味する。

## ○ なぜ、肥満度曲線に基づく児童生徒の健康管理が必要なのか

- ・同じ肥満度でも肥満度曲線に基づくと、その対応はまったく異なる。

## ○ なぜ、すべての児童生徒について身長・体重成長曲線と肥満度曲線を作成しなくてはならないのか

- ・身長・体重成長曲線と肥満度曲線が基準線からはずれる成長異常は、早期に発見できれば、脳腫瘍を除き、治療することができる。
- ・上記成長異常の早期発見は、身長・体重成長曲線と肥満度曲線に基づくこと以外にはない。
- ・日常の健康観察では、身長や体重の成長異常発見が遅れることが多い。

## ○ 身長・体重成長曲線と肥満度曲線から何がわかるのか

- ・適正な成長の確認
- ・極端な成人低身長になる可能性のある児童生徒の早期発見と早期対応
- ・病気が原因である肥満の早期発見と早期対応
- ・単純性進行性肥満の早期発見と早期対応
- ・病気が原因であるやせの早期発見と早期対応
- ・いじめや虐待を受けている児童生徒の発見にも役立つことがある

\* 上記すべてに漏れなく対応することはできず、限界があることも事実である。

## 伝達講習「平成27年度健康教育指導者養成研修」

三島市立山田小学校 土屋 洋子 養護教諭

島田市立島田第二中学校 永田 知香子 養護教諭

### 1) 学校における学校感染症対策の在り方

感染経路に応じた対策を適切に行い、学校での発生・蔓延・流行を防ぐ。

### 2) 児童生徒のメンタルヘルスへの理解と対応

子どものこころの傷つきへの気づきが重要。健康観察を充実させるためにはどうすればよいか？ランキング表を作成してみよう。

### 3) 学校保健マネジメント

学校保健活動におけるマネジメントとは、目標達成のために人を動かすこと。

### 4) 学校におけるアレルギー疾患への対応

組織的に対応する必要がある、ヒヤリハット事例を取り入れる等、危機管理研修の充実を図る。